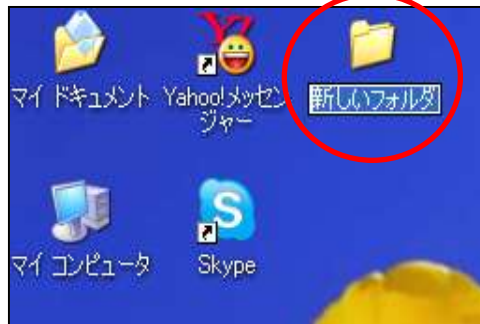
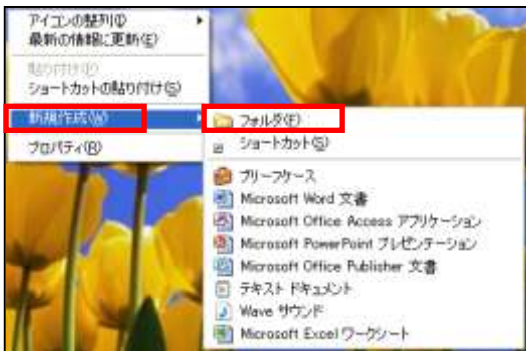


写真の面白加工

2012/03/30 修正

＜JTrim を使って、写真をいろいろ加工して楽しんでみましょう＞

I. 加工した写真は別のフォルダに保存して、オリジナル写真の変更紛失を防ぎましょう。
 デスクトップ画面で、右クリックして[新規作成]から[フォルダ]をクリックする。デスクトップ画面に[新しい フォルダ]が表示されて、名前部分が枠で囲まれているので、そのまま『加工写真』と、入力する。このフォルダに、これから作成する加工写真を保存します。



II. 写真を円形に切り取る。

①JTrim を立ち上げて写真を表示する。

*今日の学習資料を開いて『JTrim』をダブルクリックする。

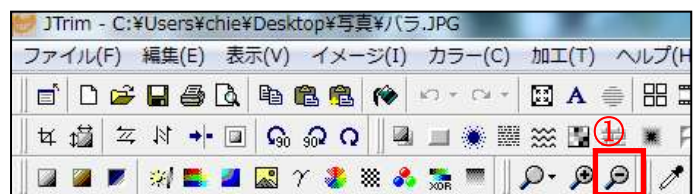


このアイコンをダブルクリックする。

*JTrim 画面メニューの[ファイル]から[開く]をクリックすると「ファイルを開く」画面が表示される。①デスクトップをクリックする②ファイルの場所は本日の学習資料から『写真』を選択する③使う写真[バラの花]をクリックする④[開く]をクリックすると JTrim 画面に写真が表示される。



*JTrim に表示された写真が、大きすぎる場合は、写真の表示サイズを小さくします。画面上の①[ズームアウト]をクリックするか、右下の②100%を50%～25%にズームアウトして、表示写真のサイズを変更します。★写真そのもののサイズが変更されたものではありません。

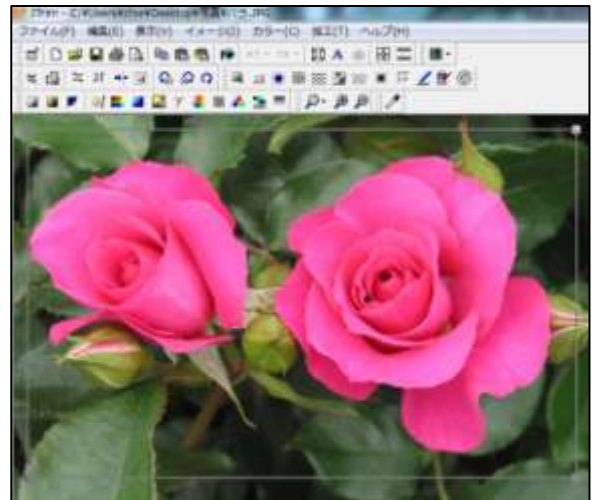
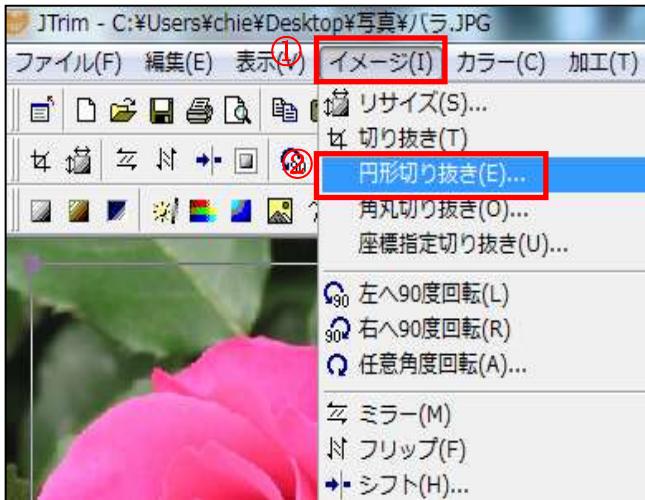


②写真を加工します。

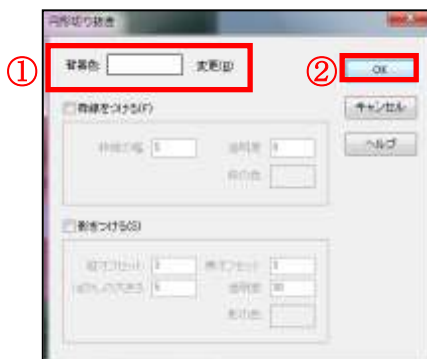
*切り取る部分を枠で囲む。

楕円・縦長の丸・まん丸など、切り抜きたい部分を中心として、写真の上で、マウスを左クリックのままドラッグして枠を作る。(失敗したらやり直しができる)

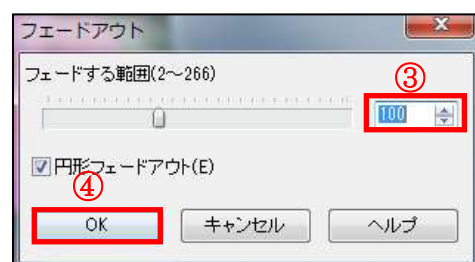
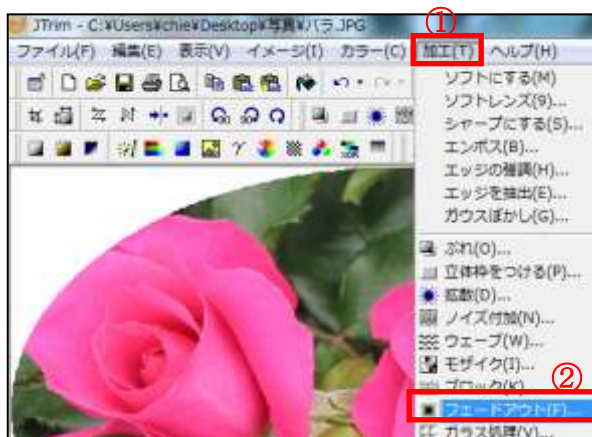
メニューバーの①[イメージ]から②[円形切り抜き]をクリックする。



*「円形切抜き」画面が表示されるので①背景色を白にして②[OK]をクリックすると写真が丸く切り抜かれて表示される。



*メニューバーの①[加工]から②[フェードアウト]をクリックすると、「フェードアウト」画面が表示されるのでフェードする範囲を③『100』にして④[OK]をクリックする。



*写真の周囲に、ぼかしがかかります。背景を灰色にして切り抜くと右側のようになります。即ち、写真自体が円形になったのではなく、方形の写真は変わらずに円形以外の部分が、白色等の背景を持ったもので、この部分は透明ではありません。背景色をもう一度白色にするには、イメージから円形切り抜きにして、背景色を白にする。

<背景色を白にした写真>

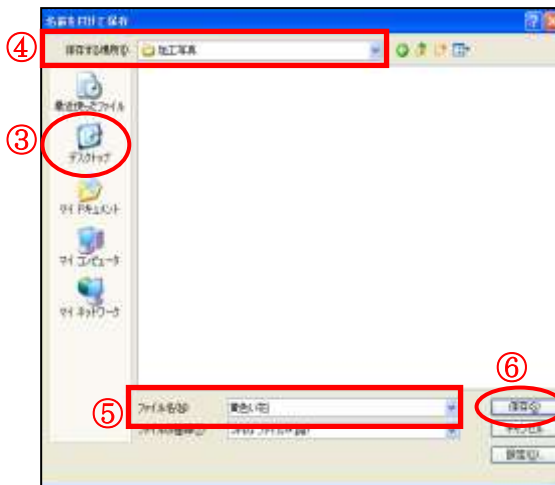
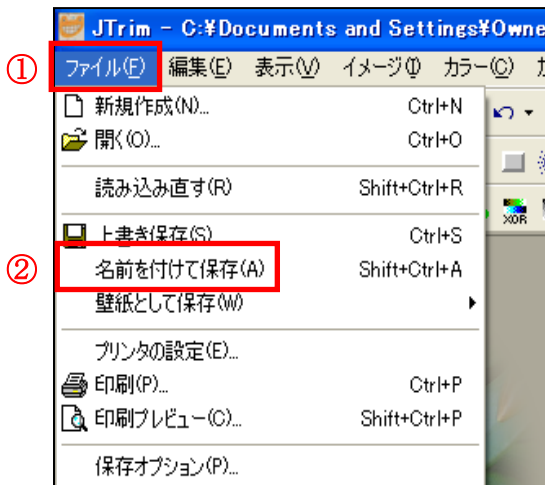


<背景色の白が消えた写真>



③加工した写真を保存します。

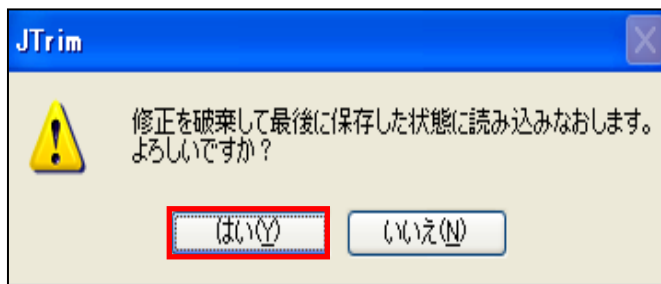
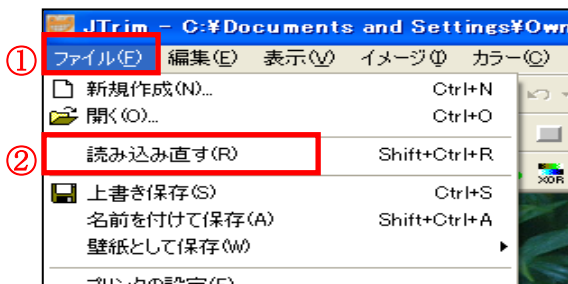
*JTrim メニューの①[ファイル]から②[名前を付けて保存]をクリックする。保存する場所は③デスクトップの④加工写真を選択して⑤ファイル名を『バラの花』と、入力する⑥[保存]をクリックする。



Ⅲ. 写真に文字や題名を入れる。

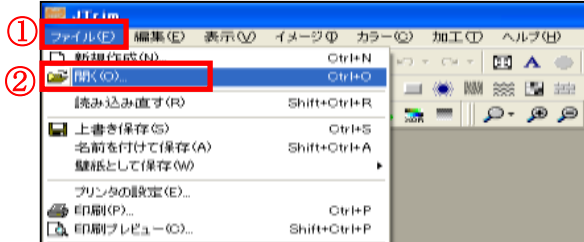
①文字を入れる写真を表示する。

*事前作業として JTrim 画面に、前に使った写真が残っているので、①ファイルから②[読み込み直す]をクリックする。『修正を破棄して最後に保存した状態に読み込みなおします。よろしいですか?』の、画面が表示されたら[はい]を、クリックする。尚、この画面が表示されないこともあります。



*Jtrim メニューの①[ファイル]から②[開く]をクリックする。

*「ファイルを開く」画面が表示される③デスクトップをクリックする④ファイルの場所は、本日の学習資料から『写真』を選択する⑤使う写真(岡山鳥城と花火)をクリックし、左下のプレビューで写真を確認して⑥[開く]をクリックする。

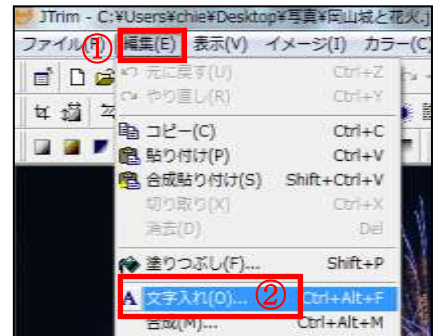


*JTrim に表示された写真が、大きすぎる場合は、写真の表示サイズを小さくします。画面上のツールバーから[ズームアウト]をクリックする。右下の 100%を 50%~25%にズームアウトして、表示写真のサイズを変更する (Jtrim 画面で写真の全体像が見られる状態にする)



②写真に文字を入れる。

*メニューバーの①[編集]から②[文字入れ]をクリックする。「文字入れ」画面が表示される。

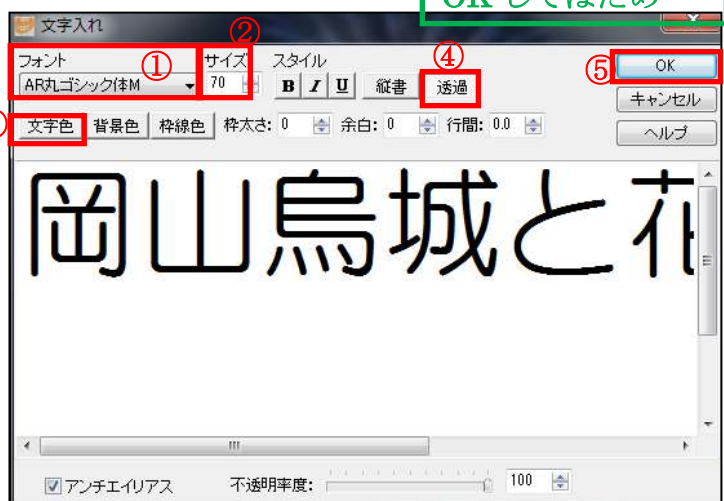


*①フォント (AR 丸ゴシック体 M) ②数字は半角で入力する。サイズ(70)③文字色をクリックすると「色の設定」画面が表示される。入力画面に文字が残っていたら入力部分をクリックして Delete と Back で削除する。色を選んで④[透過]をクリックすると 文字の背景が透明になる⑤OKする(フォントは PC 機種によって違うので好きなものを選ぶ)

OK してはだめ

*文字の周りに囲み線があれば、枠太さをゼロにする。余白と行間をゼロにする。不透明率は 100 にする。③文字色

*「文字入れ」画面に全角で文字を入力する。写真の左上に文字が表示されるが、文字サイズを変更するには、「文字入れ」画面のサイズ部分の数を大きくする。文字サイズは、写真原寸に対する大きさですから、通常使用するサイズではゴマ粒サイズ見えません。また、文字色が写真と



同じ色では見えませんから、目立つ色にする必要があります。

*文字の位置を移動する。この時大切なことは、文字入れ画面を消さずに写真上の文字をドラッグ移動する(文字入れ画面を消すと文字の移動が不可能となる・・・慌てないで元に戻してやり直せば良い)「文字入れ」画面を⑤[OK]で閉じる。

③出来た写真を保存します(Ⅱの③と同じ要領で保存する)

JTrim メニューバーの[ファイル]から[名前を付けて保存]をクリックする。保存する場所はデスクトップの加工写真フォルダにする。下のファイル名を入力して[保存]をクリックする。

縦書き文字: JTrim に写真を開く→編集から[文字入れ]をクリック→前の文字が残っていたら横書きと同じように削除する→フォントは頭に@マークがあるものが縦書き用です→フォントを選んだら縦書きをクリックして、透過を元に戻す→文字色と背景色を選択する→文字入力する→文字入力画面を消してはダメ→写真上の文字を好きなところに移動する→フォント・文字色・背景色などの変更もできる→文字部分を移動→文字入れ画面を[OK]で消す→保存する。



IV. 写真に縁取りをつける

★今回の額縁は、写真の上下左右の端面部分を写真とは異なる色合い・模様に変えて、その部分を額縁の形に変えていく作業を行います。

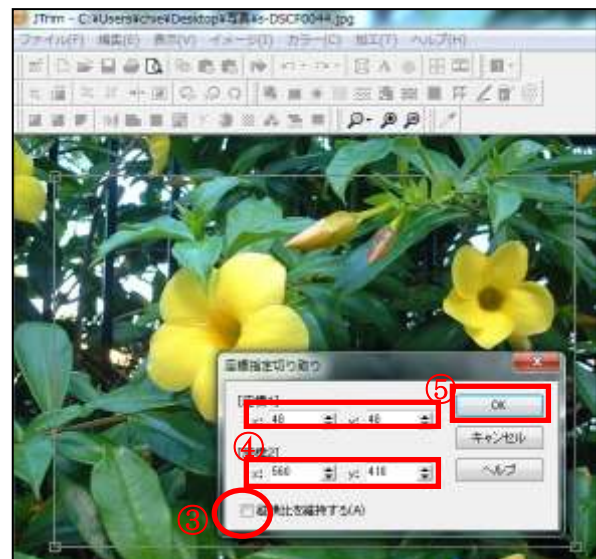
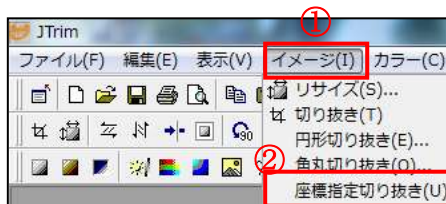
①JTrim を立ち上げる。メニューバーの①[ファイル]から②[開く]をクリックする。『ファイルを開く』画面が表示される。③デスクトップをクリックする④ファイルの場所は本日の教材から『写真』を選択して⑤使う写真をクリックする⑥[開く]をクリックする。この時使用する写真の大きさは、600×450px のサイズを用います。⑦画像サイズの確認ができます。(今回準備した写真は、縮専を使ってサイズ変更しました)

★最後の参考資料に JTrim を使ったりサイズ方法の説明を載せています。



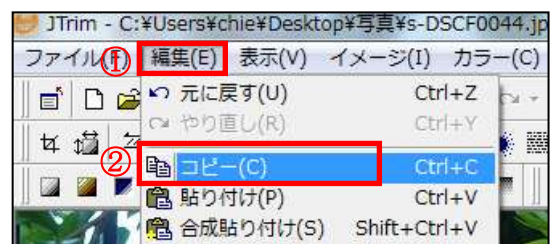
★額縁の様様化は写真全面に及ぶことから、写真とする部分を予め切り取って保存しておきます。切抜き寸法は、使用する写真のサイズによって変える必要があり、座標1は切り取り部左上隅、座標2は右下隅を表します。今回は額縁幅を40とするので座標1=40、座標2=600-40=560と450-40=410となる

②メニューバーの①イメージから②[座標指定切り抜き]をクリックする。座標指定切り取り画面が表示される(囲み線は無視)③[縦横比を維持する]のチェックはオフにする。④座標部分に半角で入力する(座標1) X:40 Y:40 (座標2) X:560 Y:410の数値にすると写真上に囲み枠が表示される⑤[OK]をクリックすると囲み線が消えて、切り取った写真に変わる。



★切り取った部分をクリップボードに記憶させる

③切り取った写真をコピーする。メニューバーの①[編集]から②[コピー]をクリックする。(注意・この時点で、コピーを忘れると上書き合成する時に、この場面まで戻ってやり直す事になります。)



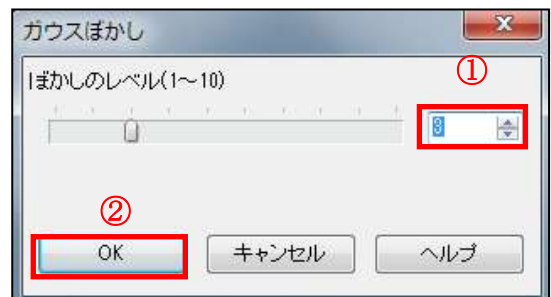
★切り取る前の状態に戻す

④メニューバーの①[編集]から②[元に戻す]をクリックしたら、範囲指定枠を外す。(範囲指定枠を外すには、囲み枠より外の部分でクリックすると枠が消える)



★額縁の様様を作成する。模様加工1：写真をぼかす
以下の加工で使用しているすべての数値は今回の写真に適したものとして選んだ数値で、使用する写真によって変える必要があります。試行錯誤です。

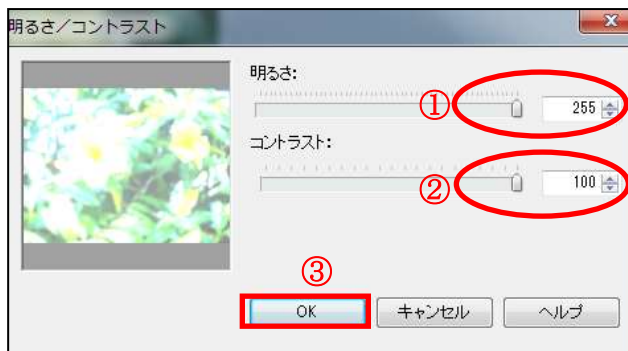
⑤メニューバーの[加工]から[ガウスぼかし]をクリックする①ぼかしのレベルを(3)にして②[OK]をクリックする。



★模様加工2：明るさとコントラストを変える

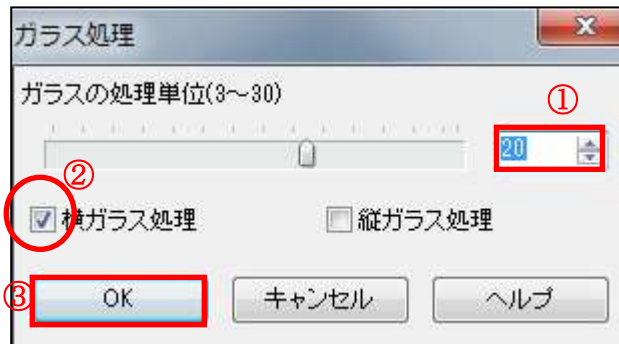
⑥メニューバーの[カラー]から[明るさ/コントラスト]をクリックする。①明るさは最大(255) ②コントラスト最大(100)にして③[OK]をクリックする。

数値を移動する目盛を右端にドラッグしてもいい



★模様加工3：カットガラス模様に変える

⑦メニューバーの[加工]から[ガラス処理]をクリックする①ガラス処理単位を(20)にして②横ガラス処理にチェックを入れて③[OK]をクリックする。



★模様加工4：カットガラスのエッジを強調してよりカットガラスらしくする

⑧メニューバーの[加工]から[エッジの強調]をクリックする①レベルを最大の(20)にして②[OK]をクリックする。

数値を移動する目盛を右端にドラッグでもいい



★切り取った写真を貼り付ける位置を決める=切り取った時と同じ座標

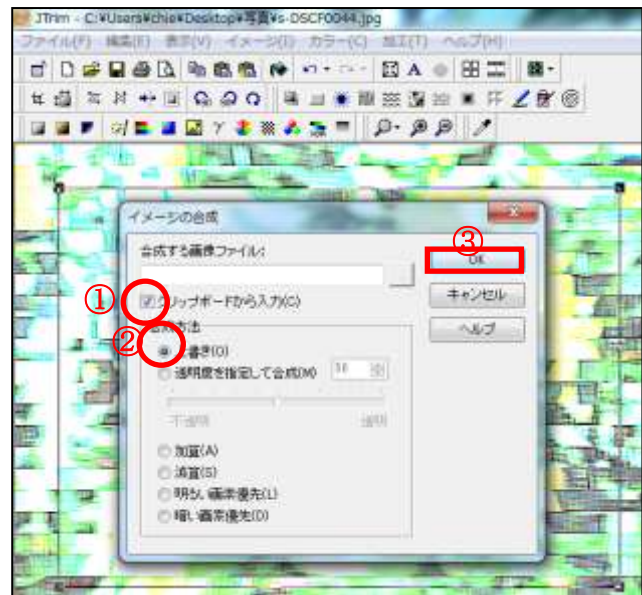
⑨メニューバーのイメージから[座標指定切抜き]をクリックする。写真上に[範囲指定枠と切り取り]画面が表示されるが、範囲指定枠を表示させる為である。切り取り画面を✕で消す。範囲指定枠は触らない。



★合成という形で貼り付ける

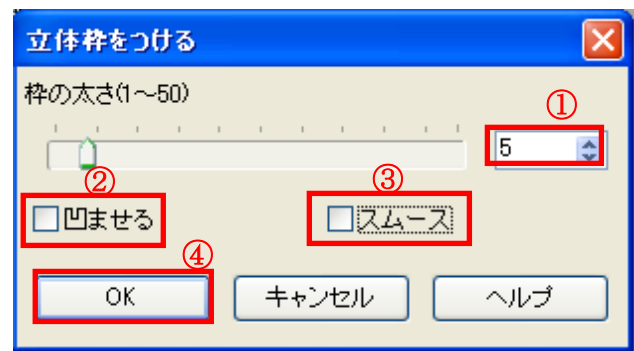
⑩写真の範囲指定枠が表示されている状態でメニューバーの[編集]から[合成]をクリックする。『イメージの合成画面』が表示されるので①クリップボードから入力にチェックを入れる②上書きにもチェックを入れて③[OK]をクリックする。範囲指定枠は外さないこと。

(③でコピーするのを忘れたら、もう一度注意の部分からやり直します。)



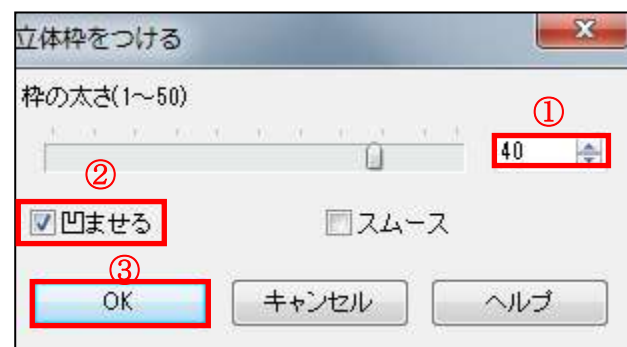
★額縁部分を立体的に見せる加工を行う。立体加工1：外側幅（5ピクセル）を外側に折る

⑪メニューバーの[加工]から[立体枠をつける]をクリックする。立体枠をつける画面の①枠の太さを（5）にして②凹ませると③スムーズ部分は両方共チェックを外して④[OK]をクリックする。写真上の範囲指定枠より外でクリックして範囲指定枠を外す。



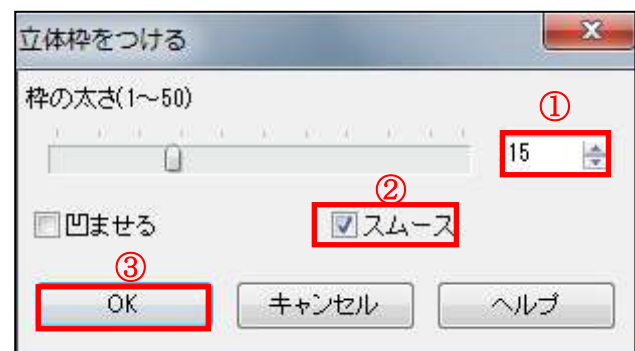
★立体加工2：外側から40ピクセル幅を内側に折る。凸凹を交互に行うことで立体的に見せる

⑫メニューバーの加工から[立体枠をつける]をクリックする。①枠の太さを（40）②凹ませる部分にチェックを入れて③[OK]をクリックする。



★立体加工3：折り山部分に丸みを付ける

⑬メニューバーの加工から[立体枠をつける]をクリックする。①枠の太さを（15）凹ませる部分のチェックをとって②スムーズ部分にチェックを入れて③[OK]をクリックする。同じ事を繰り返して2回行う。



⑭縁取り写真の完成です。JTrim の左上のファイルから[名前を付けて保存]をクリックする。保存する場所はデスクトップの加工写真フォルダにします。下のファイル名を入力して[保存]をクリックする。(保存方法はⅡの③を参照)



縁取り写真加工の完成品

★今回は写真の端部分を額縁として利用しましたが、新たに色つき余白を追加しながら凸凹を繰り返して作成する方法もあります。金色の余白で凸凹凸凹凸とすると趣のある額に仕上がりますので色々試行してみてください

<参考>

*今回の勉強会で使用するのは三つの機能ですが JTrim では色んなことが出来ますので、色々触ってみましょう。保存するときは間違っても上書き保存しないように、オリジナル写真が無くなってしまいます。

*写真には写真撮影年月日や撮影条件が保存されており、それらはプロパティから見る事が出来ますが、写真を加工するとそれらのデータが引き継がれないことがあります。JT-rim ではファイル[メニュー]の保存オプションから「Exif データを保存する」にチェックを入れておくことで加工写真にもデータを引き継ぐことが出来ます。

★JTrim を使ってリサイズする→JTrim を開いて、メニューバーの①[イメージ]から②[リサイズ]をクリックする。リサイズ画面が表示される。③サイズで指定する部分にチェックを入れる。数値はピクセルで④(横 560×縦 420)と入力して⑤縦横の比率を保持する。にチェックを入れて⑥[OK]する。

(注意：リサイズした写真を加工しても、保存するときは、名前を付けて保存すること。上書き保存すると、元々の写真がなくなってしまいます。)

